

3 - 8 小田原観測井について(3)

The Odawara Bore-hole Station(3)

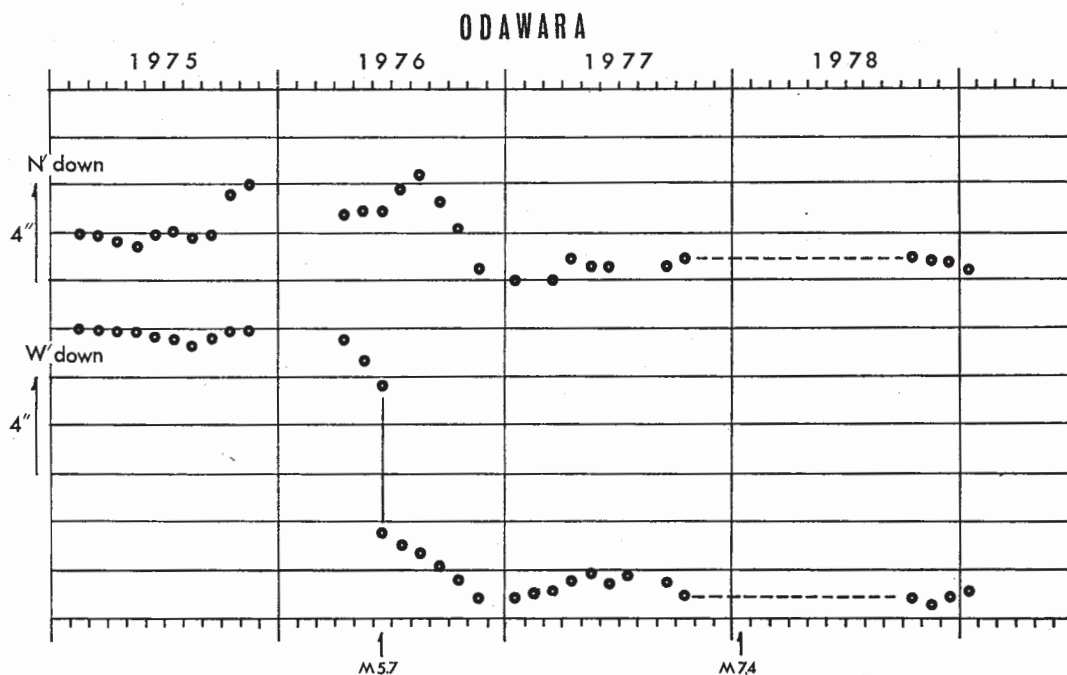
東京大学地震研究所 地殻変動研究部門

油壺地殻変動観測所

Earthquake Research Institute, University of Tokyo,
Section of Crustal Movement Studies, Aburatsubo Crustal Movement Observatory

小田原観測井（予知連会報，第10巻（1973），51 および第18巻（1977），29 参照）に設置されているブイ傾斜計（基線長50m）には，いくつかの改良が加えられつつ観測が行われている。第1図は現在までの観測結果を要約したもので，同図中，記録線の大きなずれは山梨県東部地震（1976年6月16日， $M = 5.7$ ， $\Delta = 40\text{Km}$ ）に対応する。記録上の変化は約5秒角E'下りであるが，それが実在のものか否かは不明である。これを除けば全般に著るしい変動は見られないが，E'W'成分には，ややE'下りの傾向がうかがわれる。

観測と並行して，局地水準測量が1977年いらい毎年実施されているが，それについては別の機会に報告する。なお，記録処理を能率よく行えるよう，公衆通信回線（電話）によるデータ伝送装置が最近設置された。



第1図 小田原観測井における土地傾斜（毎日 O^h 値）

Fig. 1 Ground tilts at Odawara (daily O^h value).